

第31回 特別講演会

タガメの生態とくらし

大庭伸也 先生（長崎大学教育学部）

日本最大の水生昆虫・タガメは環境省絶滅危惧Ⅱ類、全47都道府県地方版レッドデータブックに記載されるほど、絶滅が心配されています。

昆虫少年だった私も、大人になるまで野生のタガメには出会えませんでした。そして、2020年2月10日から環境省はタガメを特定第2種国内希少野生動植物種に指定し、インターネットやお店での売買、売る目的での捕獲を禁止にしました。

タガメは図鑑には必ず載っているのに、どうしてこんなに珍しい昆虫になったのでしょうか？どんなふうに生息環境を守ればタガメを守れるのでしょうか？そもそも、タガメはどんな暮らしをしているのでしょうか？そんな素朴な疑問や憧れから出発した私のタガメ研究は、早いもので20年の月日が経ちました。

今回は、水田や溜池に何度も通いつめ、室内で行動観察を続けることで分かってきた“食べ物”を中心としたタガメの生態と、最近分かってきたオスの卵保護行動の役割について紹介します。

今、分かっていることは彼らの生活や生態のほんの一部かもしれませんが、そこから見えてきた保全に必要な条件や、今取り組んでいる保全の話題も提供したいと思います。



- ・開催日時：令和2年3月14日（土）13:00～14:30
- ・場 所：豊田ホタルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。

豊田ホタルの里ミュージアム

電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355

E-mail : thm16@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40名